

向日市

おもな記事

- 切り株を利用した置き物づくり (一ページ)
- まちづくりの実施計画を策定 (一ページ)
- 循環器系検査注意 成人病検査結果 (二ページ)
- 実技で家庭看護法を学ぶ (二ページ)
- 駐車指導件数が減少 夜間道路駐車バトまとめ (三ページ)
- 三月のお知らせ (四ページ)

まちづくりの実施計画を策定

- 市のまちづくり基本構想による実施計画
- 画書が、このほどまとまりました。
- 市では、この計画書に基づいて、都市機能の整った豊かなまちづくりの青写真に、真にそって、事業を推し進めていきます。



(都市化がすすむ市のすがた)

四本の柱を基調に推進

目標年次は五十一年度

この実施計画は、市民の生活を基調に、まちづくりを推進し、生活周辺の環境整備、健康し進めることを目的として、を高め、文化と福祉の充実を図ります。

この計画期間は、昭和四十九年度から五十一年度までの三か年計画です。

実施計画書は、第一編に一般会計、第二編に特別会計、公営企業会計とに分かれ、さらに、基盤整備、産業開発、社会開発、行財政の四つを柱とした実施計画の概要、事業計画表、事業の構成、財政計画表の五章にわたって、これからのまちづくり事業目標がまとめられています。

（基盤整備）住宅としての環境を整え、風格のとれた都市づくりをめざすため、市民の暮らしを高める都市施設の整備充実をはかっています。

（産業開発）物的、人的に都市化され、消費都市としての変化は、産業構造に著しく現われ、これに対応する産業の機能を高める援助、指導を推し進めます。

（社会開発）市民が充実した生活を営むことができない生活環境を改善し、社会経済情勢を考慮し、現状に

実施計画概要

（行財政）都市化に伴う社会的要因のため、行財政需要は、ますます増大し、計画を推進する行財政運営の健全化をはかっています。

（福祉）福祉の強化をはかっています。福祉面では、保育児童の適切な保育所運営を推進し、社会環境を保全するため、

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

（市民生活）市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十

(手作りの置き物を片手に話す藤谷さん)

切り株を利用した置き物づくり

＝手作りで百余点＝

藤谷 藤二郎さん (73歳)

…… 市内に、古木の株や竹の切り株を利用、趣味として置き物を作っているおじさんがいらっしゃいます。そのおじいさんは、藤谷藤二郎さん(73歳・鶏冠井町堀畑)で、人あたりの柔らかい方で、おばあさんと2人暮らしです。

藤谷さんは、古木の切り株を利用し置き物を作りはじめたのは、京都農林専門学校(京都府立大学の前身)に勤務している時に病気になるまで。自然の物を大切に生かそうと、木の切り株や竹、石などを利用、切り株そのものをそこなわずに土を洗い落して、置き物を作っていました。

作品の中には、株を利用したランプ台、釣り人形を乗せた竹船、山、人物、動物などがありました。

藤谷さんは、嵯峨野や大原野の野山を歩き回り、切り株を集めていらっしゃいます。出かけると気になっている切り株が見つからず、手ぶらで帰宅するときの方が多く、山の中でいい切り株を見つけたら、蛇だったという面白い話もしていただきました。

作りはじめは、奥さんも息子さんも、また変なものを持って帰るとよく叱られたそうですが、今では、そろって協力してくれるんですよ、おっしゃいました。

一つの切り株を置き物として完成する製作日数は、早いもので3~4日、古木のもので2~3年かかるものもあるとか。手近なもので、細工や彫刻もせず、人の喜んでいただくもの、を心がけて製作に取り組んでいます。今まで百余点を作りましたが、気に入っていてもすぐ人にあげるんですよ、と気持ちよさそうに話されました。

老人クラブの作品展にもたびたび出品され、人の目を楽しませています。これからも、身体を大切に、趣味の置き物づくりをされることを期待しています。

宮崎さんの手術成功

善意の献血ありがとうございました

市民のみなさんの善意のB型献血用血液を、市民の献血により、さる一月二十日午後二時に宮崎さん(寺町河川二〇番地)は、手術経過も順調で、じょうずに元気に立ち上がり、手術に際して必要なA型血液を、向日市献血推進実行委員会事務局に提供いただきました。

“今日も無事 明日も忘れず 火の用心”

<春の火災予防運動：3月13日まで>



春の火災予防運動が始まっています。この時期は、フェーン現象などにより、火災が発生しやすく、大火災になりがちです。家の火の元は、十分に注意し、“今日も無事 明日も忘れず火の用心”を合いこばに、市民みんなで、防火運動をすすめましょう。

